

番号	5 - 16	申請者	看護師長 石井 美香子
<p>【審査申請課題】</p> <p>看護師長と副看護師長の相互関係による経験学習の内容 -経験学習ノートにおける看護管理能力向上の効果-</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>医療・看護を取り巻く環境は、少子高齢化、医療技術の進歩、国民のニーズの多様化等大きく変化してきている。このような変化の中、看護に求められる役割は多岐にわたり、病院の看護管理者である副看護師長および看護師長は看護の質を保証する上で重要な役割を担う。</p> <p>Kolb (1948) は、学習を「経験を変換することを通して知識を創造するプロセス」と定義して経験学習モデルを構築している。さらに倉岡氏は自身の研究によりKolb (1948) の考え方を基盤にしながら経験学習を①状況②内省③私が得た知識・スキル④異なる状況での試行の4つの段階に分けている。そして、経験学習を成功させるために経験学習の4段階を通して、その状況と状況の中にいる自分を客観的に捉えなおすし、経験学習ノートという経験を可視化できる様式を看護管理能力開発プログラムとして開発している。また看護管理者が経験をノートに記述することにより、他者からフィードバックという形で支援を得ることができ自分の経験学習を深化させることができるとされている。</p> <p>本研究では、倉岡の経験学習ノートを活用し副看護部長の経験に対して看護師長が支援（フィードバック）することにより、両者の経験学習の内容を明らかにすることを目的とした。今後、看護管理者能力開発に対して具体的な教育内容を抽出するための示唆を得られることが期待できる。</p>			
審査結果	承認 (令和5年7月7日)		